2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年11月13日

上場会社名　　株式会社ビジュアル・プロセッシング・ジャパン　　上場取引所　東
コード番号　　334A　　ＵＲＬ　https://www.vpj.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）三村　博明
問合せ先責任者　（役職名）取締役管理本部長　　（氏名）松本　勝裕　　ＴＥＬ　03-6772-8056

配当支払開始予定日　　ー
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	1,130	21.0	203	34.4	206	49.4	143	59.3
2025年12月期第３四半期	934	4.2	151	28.1	138	17.3	90	13.4

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	43.20	42.93
2025年12月期第３四半期	28.47	28.45

（注）１．当社は、2025年３月25日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2025年12月期第３四半期の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益は、新規上場日から2025年12月期第３四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
２．当社は、2026年５月１日を効力発生日として、普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「１株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後１株当たり四半期純利益」を算定しております。

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	1,745	1,375	78.8
2025年12月期	1,708	1,285	75.3

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　1,375百万円　2025年12月期　1,285百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	ー	0.00	ー	32.00	32.00
2026年12月期	ー	0.00	ー		
2026年12月期（予想）				19.00	19.00

（注）１．直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有
２．2026年５月１日を効力発生日として、普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。2025年12月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。
３．2025年12月期期末配当金の内訳 普通配当 23円00銭 上場記念配当 ９円00銭
４．配当予想の修正については、本日(2026年11月13日)公表いたしました「通期業績予想および配当予想の修正（決定）に関するお知らせ」をご覧ください。

３．2026年12月期の業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,570	14.3	313	20.2	316	27.4	213	20.7	64.18

（注）１．直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
２．業績予想の修正については、本日(2026年11月13日)公表いたしました「通期業績予想および配当予想の修正（決定）に関するお知らせ」をご覧ください。

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無
②　①以外の会計方針の変更　　：無
③　会計上の見積りの変更　　：無
④　修正再表示　　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	3,323,800株	2025年12月期	3,323,800株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	－株	2025年12月期	－株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	3,323,800株	2025年12月期３Ｑ	3,165,306株

（注）2026年５月１日を効力発生日として、普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※　添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績等予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料２ページ「１．経営成績等の概況（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、ＴＤｎｅｔで本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．四半期財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）四半期貸借対照表 …… 3
（２）四半期損益計算書 …… 4
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 5
（継続企業の前提に関する注記） …… 5
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 5
（セグメント情報等の注記） …… 5
（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 5

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期累計期間における世界経済は、為替・原油価格の変動や不透明な国際情勢が継続いたしました。しかしながら、当社の業績におきましては、こうしたマクロ環境による直接的な影響は限定的であり、夏季休暇やシルバーウィークによる営業活動日数の減少といった外部的要因に対しても、AIエージェントをはじめとする先進技術の推進力がこれを上回り、堅調に事業が推移いたしました。

市場においてはAI活用への関心が急速に高まっており、当社が展開するDAM（デジタルアセット管理）及びPIM（商品情報管理）分野においても、多くの企業がAI技術の導入に極めて積極的な姿勢を見せております。こうした中、当社の統合型デジタルアセット管理システム「CIERTO」は、既に実装済みの豊富なAI機能に加え、年内に予定しているMCP（Model Context Protocol）を介したAIエージェントとの連携発表が市場の強い関心を集め、競合優位性を一層確固たるものにしております。

この結果、夏季期間に伴う営業活動への影響があったものの、当第３四半期におけるCIERTOの新規契約件数は11件となり、当期新規契約の累計件数は47件（前年同四半期実績比35件：34.3%増）、ARRは1,146,281千円（前年同期比30.3%増）、解約率は2.15%と大幅な成長を記録いたしました。この「CIERTO」を中心とした新規納入件数の順調な積み上がりに加え、SI案件（累計68,039千円）及び開発案件（累計166,681千円）における顧客の運用拡大が全体の業績を強力に牽引いたしました。

以上の結果、当第３四半期累計期間の経営成績は、売上高1,130,334千円（前年同期比21.0%増）、営業利益203,440千円（前年同期比34.4%増）、経常利益206,444千円（前年同期比49.4%増）、四半期純利益143,603千円（前年同期比59.3%増）となり、前年同期を大きく上回る増収増益を達成いたしました。

また、当社は、DXソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(注)年間継続収益であるARR（Annual Recurring Revenue）は、期初より継続しているSaaS及び保守の月額と当期新規契約のSaaS及び保守の月額に12を乗じることにより、年間分（12か月分）の金額を算出しております。当該月額は、半期においては６月末時点の継続収入から算出しております。

（２）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第３四半期会計期間末における資産合計は1,745,870千円となり、前事業年度末に比べ37,583千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が53,745千円、無形固定資産が11,264千円増加した一方、売掛金が19,955千円、仕掛品が17,712千円減少したことによるものです。

（負債）

当第３四半期会計期間末における負債合計は369,905千円となり、前事業年度末に比べ52,839千円減少いたしました。これは主に、前受収益が5,387千円増加した一方、未払法人税等が25,504千円、買掛金が21,066千円減少したことによるものです。

（純資産）

当第３四半期会計期間末における純資産合計は1,375,964千円となり、前事業年度末に比べ90,422千円増加いたしました。これは主に、四半期純利益143,603千円、剰余金の配当53,180千円によるものです。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

主力製品であるCIERTOの販売活動は引き続き好調であり、当事業年度におきましては業績予想を上回る実績で堅調に推移しております。

第４四半期に計画しているCIERTOの納入案件そして大規模なSI案件及び開発案件も順調に進んでおり、当事業年度の売上と利益は通期業績予想を上回る見込みとなっております。

これらを踏まえ、通期の売上高予想を見直したこと等により、通期の業績予想を修正いたします。詳細については、本日(2026年11月13日)公表いたしました「通期業績予想および配当予想の修正（決定）に関するお知らせ」をご覧ください。

２．四半期財務諸表及び主な注記

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2025年12月31日)	当第３四半期会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,214,046	1,267,791
受取手形	2,515	－
電子記録債権	4,057	12,370
売掛金	148,177	128,222
仕掛品	36,102	18,390
その他	37,510	47,369
流動資産合計	1,442,409	1,474,144
固定資産		
有形固定資産	40,674	38,823
無形固定資産	76,341	87,605
投資その他の資産	148,862	145,296
固定資産合計	265,878	271,725
資産合計	1,708,287	1,745,870
負債の部		
流動負債		
買掛金	69,858	48,791
未払法人税等	54,894	29,389
前受収益	196,433	201,820
賞与引当金	21,900	24,487
その他	79,659	65,416
流動負債合計	422,745	369,905
負債合計	422,745	369,905
純資産の部		
株主資本		
資本金	207,277	207,277
資本剰余金	172,277	172,277
利益剰余金	905,986	996,409
株主資本合計	1,285,542	1,375,964
純資産合計	1,285,542	1,375,964
負債純資産合計	1,708,287	1,745,870

（２）四半期損益計算書

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	934,104	1,130,334
売上原価	338,276	443,233
売上総利益	595,828	687,100
販売費及び一般管理費	444,434	483,659
営業利益	151,393	203,440
営業外収益		
受取利息	1,214	2,898
為替差益	－	103
その他	39	1
営業外収益合計	1,254	3,003
営業外費用		
為替差損	1,278	－
株式交付費	6,608	－
上場関連費用	6,595	－
営業外費用合計	14,482	－
経常利益	138,166	206,444
税引前四半期純利益	138,166	206,444
法人税、住民税及び事業税	45,665	61,021
法人税等調整額	2,357	1,819
法人税等合計	48,022	62,841
四半期純利益	90,143	143,603

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

当社は、DXソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る減価償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第３四半期累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	28,618千円	35,515千円